



インドの全財宝をあけても、読書の楽しみには換え難い。  
(エドワード・ギボン=イギリスの歴史家)



## 図書館は文化とビジネスの架け橋 Sponsors' ビジネスカフェ開催



県立図書館は、昨年から、企業・商店の情報発信と館内で提供する雑誌の充実を目的に、雑誌スポンサー制度を実施しています。「打って出る司書」が訪問するなどして協力をお願いしたところ、28社（7月現在）がスポンサーとなり、社会貢献活動として雑誌提供を行っています。（雑誌は閲覧室で見ることができます。）

7月5日（金）、県立図書館雑誌スポンサー企業の皆さんを対象に、図書館のビジネス支援についての理解と、スポンサー企業同士の交流を目的とした、ビジネスカフェが開かれました。



会場提供した企業のPR

今回は、図書館の「ビジネス支援サービス」を利用し、商品のブランド化のために、図書館の地域資料や貴重資料を活用することで付加価値を高めた企業や、

図書館の仲立ちにより、異業種同士で新しいビジネスを生み出した企業も参加していました。自社のPRの場では、各企業がこれまでの図書館との関わりについて発表しました。

「県立図書館に資料の相談をすると、ただ回



自社製品やパンフレットを使っているPRタイム

答するだけでなく、こうしたらどうですかと提案してくれるからありがたい。」と、感想を述べる参加者もいました。

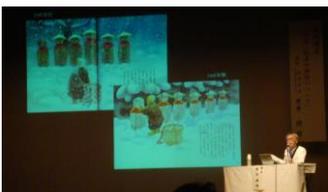
### ＜県立図書館が行うビジネス支援＞

館内に「ビジネス支援コーナー」を設置し、専門書・事典9千冊、地域資料10万冊弱の図書資料に加え、新聞や官報、判例などのデータベースも揃えています。利用者は資料を閲覧したり借りたりするだけでなく、どんな資料を使って調べたらよいか、専門知識をもった司書に相談することができます。また、必要に応じて専門機関を紹介してもらうことも可能です。

このビジネス支援による成果品は、図書館のサポートを示す資料とともに展示しています。

## 黒井健 講演会

### 「絵本の挿絵について」



二つの「かさじぞう」を比較して

7月13日（土）、黒井健氏による講演会が秋田県児童会館けやきシアターで行われました。これは県と秋田県国公立幼稚園PTA連絡協議会が主催した講演会で、幼稚園の関係者、絵本や読み聞かせに興味のある人たちが参加しました。

黒井氏は、新美南吉の童話や「ころわん」シリーズの挿絵などでおなじみの絵本作家で、主な作

品に『ごんぎつね』『手ぶくろを買いに』『雲へ』などがあります。

講演では、まず、描いた年代が異なる絵本を並べてスクリーンに映し出し、作品の理解の仕方では、挿絵が変わるといってお話がありました。参加した人たちは、二つの絵本を見比べては、納得したようにうなずいていました。続いて、『ごんぎつね』は絵本作家としての方向性を見失っていた時期の作品であること、未だそれを超える絵が描けていないことなど、作品にまつわる思いが具体的に語られました。

参加者の一人は「画家の読み取ったものを挿絵の中に見つけるという、新たな絵本の楽しみ方を教わりました。」と話していました。



## 学校の活動紹介

### <学校図書館内の環境整備>

古い図書の廃棄、キャビネット等の撤去により、明るく広々とした館内にしました。また、計画的にテーマ展示を行ったりおすすめ本や話題の本を並べたりしています。

### <情報発信による読書支援>

図書館だより、図書館報、掲示板を活用して、新しい情報を

## 秋田県立大館鳳鳴高等学校 (大館市)

子どもの読書活動優秀実践校 平成25年度文部科学大臣表彰

提供するよう心がけています。

### <朝読書>

不定期ですが、各学年朝学習の時間帯に朝読書を実施しています。2年生は目指す進路の分野についての評論を読んで、印象に残った言葉等をレポートにまとめています。

### <地域と連携した活動>

校内外から講師を招いて、図

書館文化講座を年2回開催しています。また、図書委員が、児童館や市立図書館などで読み聞かせをしたり、他校と合同読書会を行ったりしています。



図書委員による読み聞かせの様子

## 図書館の活動紹介



湯沢図書館は明治36年に雄勝郡立図書館として開設して以来、湯沢雄勝地域の読書活動推進の中心的な役割を担い、年間6万人の来館者に利用されています。

昭和44年から各地区公民館へ児童図書巡回文庫を開始し、平成6年からは市内小学校への

団体貸出を行ってきました。

館内では、幼少期からの読書の習慣付けのために、ブックスタート事業、定例のおはなし会、来館した子どもが紹介するお勧め本カードの掲示などを行っています。

また、一昨年から夏休みに実施している「図書館クイズ検定」

は、本を使って問題を解くので、図書館の活用の仕方を学ぶ良い機会となっています。



図書館クイズ検定の案内板

## 教育委員会と図書館が

## 「子ども司書」養成講座を開催



羽後町では、子ども読書活動推進リーダーを養成する「羽後子ども司書」養成講座を始めました。子どもたちが、読書の楽しさや大切さを知ること、友達や家族に本と触れ合うことのすばらしさを広く伝えることができるように、図書館の役割や司書の仕事を経験しながら学ぶ講座です。

7月7日の開講から11月17日まで、読み聞かせ講習会、手作り絵本講習会、町内を巡る郷土学習など8回の講座を予定しています。5回以上の受講者には司書修了証が授与され、今後、読書推進リーダーとして、学校図書館や町立図書館の行事でも活躍することが期待されています。

## 6月の「打って出る司書」

今年度、運営課題解決サポートを希望している八郎潟町立図書館に、11日と17日、2回訪問しました。新築予定の図書館のために、必要なものや手順などについて助言しています。これから複数回訪問してサポートすることになります。

また、24日は、男鹿市立図書館の要請で、学

校図書支援員の方々を対象に、「学校図書館の基礎、選書」について出前研修を行いました。

### <訪問した市町村立図書館・公民館図書室の数>

県北	県央	県南
6館室	11館室	7館室

秋田県教育庁生涯学習課  
生涯学習・読書推進班



URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>